

【表紙】

【提出書類】	臨時報告書
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成24年11月 5 日
【会社名】	黒田精工株式会社
【英訳名】	KURODA PRECISION INDUSTRIES LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 黒田 浩史
【本店の所在の場所】	神奈川県川崎市幸区下平間239番地
【電話番号】	044 - 555 - 3800
【事務連絡者氏名】	経理部長 荻窪 康裕
【最寄りの連絡場所】	神奈川県川崎市幸区下平間239番地
【電話番号】	044 - 555 - 3800
【事務連絡者氏名】	経理部長 荻窪 康裕
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町 2 番 1 号) 黒田精工株式会社 名古屋支店 (愛知県名古屋市名東区上社二丁目243番地) 黒田精工株式会社 大阪支店 (大阪府大阪市淀川区木川東三丁目 4 番 9 号)

## 1【提出理由】

当社は、平成24年11月5日開催の臨時取締役会において、Avingtrans Industrial Products Ltd(本社：英国、以下「A I P」)の株式を100%取得し、子会社化することについて決議いたしましたので、金融商品取引法第24条の5第4項及び企業内容等の開示に関する内閣府令第19条第2項第8号の2の規定に基づき、本臨時報告書を提出するものであります。

## 2【報告内容】

### (1) 当該取得に係る子会社に関する事項

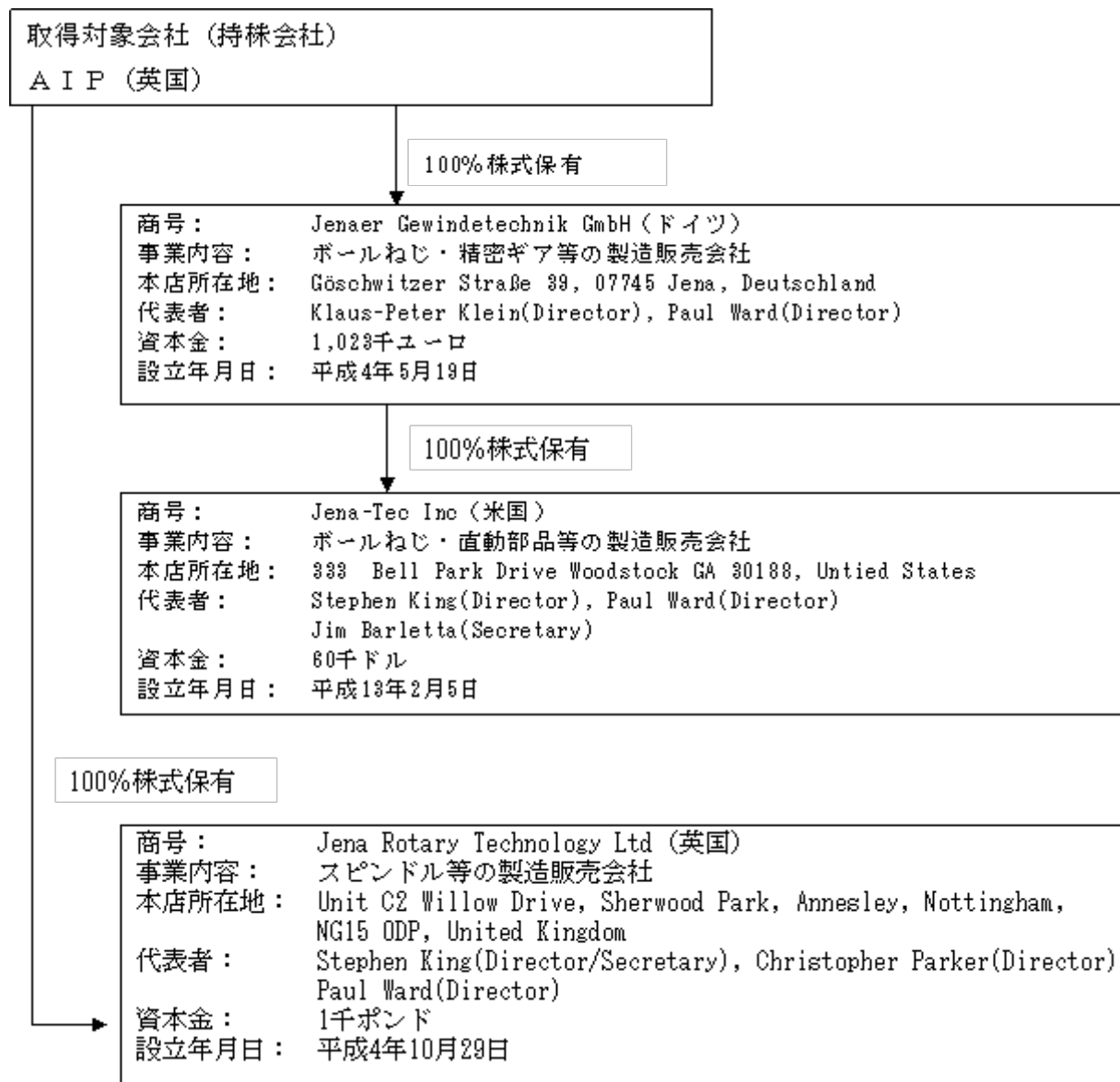
商号	Avingtrans Industrial Products Ltd		
本店の所在地	Precision House, Derby Road Industrial Estate, Derby Road, Sandiacre, Nottingham NG10 5HU, United Kingdom		
代表者の氏名	Stephen King, Director Paul Ward, Director Christopher Parker, Director Klaus-Peter Klein, Director		
資本金の額	1ポンド(平成24年5月31日現在)		
純資産の額	1ポンド(平成24年5月31日現在)		
総資産の額	3,232,551ポンド(平成24年5月31日現在)		
事業の内容	持株会社		
取得対象会社の最近3年間の単体経営成績及び単体財政状態(監査済財務諸表による)			
決算期	平成22年5月期 (ポンド)	平成23年5月期 (ポンド)	平成24年5月期 (ポンド)
売上高	-	-	280,000
営業利益	-	-	280,000
経常利益	-	-	280,000
当期純利益	-	-	280,000
当社と取得対象会社との間の資本関係、人的関係及び取引関係	資本関係	当社と取得対象会社との間には、記載すべき資本関係はありません。また、当社の関係者及び関係会社と取得対象会社の関係者及び関係会社の間には、特筆すべき資本関係はありません。	
	人的関係	当社と取得対象会社との間には、記載すべき人的関係はありません。また、当社の関係者及び関係会社と取得対象会社の関係者及び関係会社の間には、特筆すべき人的関係はありません。	
	取引関係	当社と取得対象会社との間には、記載すべき取引関係はありません。また、当社の関係者及び関係会社と取得対象会社の関係者及び関係会社の間には、特筆すべき取引関係はありません。	

(注) 取得対象会社は持株会社であります。また、当該会社の売上高には、受取配当金を記載しております。

[ご参考 A I Pのグループ関係図]

A I Pは、Jenaer Gewindetechnik GmbH(ドイツ)、Jena-Tec Inc(米国)及びJena Rotary Tecnology Ltd(英国)の  
主要子会社3社の100%株式を保有する持株会社であります。

当社は、本件買収により、A I Pに加え、主要子会社3社も併せて子会社化いたします。



取得対象会社の子会社である、上記3社の連結財務数値（A I P及び主要子会社開示資料による）

決算期	平成22年5月期	平成23年5月期	平成24年5月期
純資産	4,094千ポンド	4,549千ポンド	4,938千ポンド
総資産	6,833千ポンド	6,852千ポンド	7,741千ポンド
売上高	6,769千ポンド	10,586千ポンド	11,839千ポンド
営業利益	85千ポンド	1,032千ポンド	1,333千ポンド
経常利益	30千ポンド	920千ポンド	1,232千ポンド
当期純利益	55千ポンド	582千ポンド	943千ポンド

（注） 経常利益には、税引前純利益を記載しております。

（注） 取得対象会社の傘下には上記3社の他に、JGWT Jenaer Ausbildungs UG（ドイツ）がありますが、同社は平成24年9月末時点では事業活動を伴わない休眠会社であるため、本開示の対象には含めておりません。

（2）取得対象子会社に関する子会社取得の目的

当社は、「精密技術を通じて世界の産業の高度化をサポートする」ことを使命に事業展開をしております。今回欧州を中心に精密ボールねじや工作機械スピンドルを製造販売しているA I Pを買収することで、従来日本およびアジアが主体であった当社事業のグローバル展開を加速することといたしました。

A I Pは世界的に著名な精密光学機器メーカーであるCarl Zeiss社の精密部品製造部門を源流の一つとする歴史あるメーカーであり、長年に亘り安定的かつ堅実な経営を続けてきました。今般、A I Pの親会社であるAvingtrans plcが、同社の他の事業部門に経営資源を集中するために、精密部品部門であるA I Pを売却する決定をいたしました。これを受けて当社としてA I Pの買収の是非について検討を進めた結果、精密事業を経営の核とする当社にとりましては、以下の理由からA I Pを買収することがコア事業の成長に資すると判断し、買収を決定いたしました。なお、当社は、同日付で、A I Pの全発行済株式を取得する株式売買契約を締結し、同契約に基づき、平成24年11月8日付で同社の全発行済株式を取得する予定であります。

（当社が買収を決定した理由）

当社とA I Pとは、対象市場における重複が少なく、極めて補完性が高い、地域的には、A I Pの販売先が欧州中心である一方、当社は日本を含むアジアが市場の中心となっている。市場分野的には、A I Pは工作機械や自動車、医療・光学関連市場等の比率が高く、半導体関連市場の比率が高い当社顧客ベースの多角化の上でも大きな効果が期待できる。また、製品仕様に関しても補完関係が存在する。これらのことから、それぞれの既存顧客に対し相互に製品を販売するシナジーが早期に期待される。

当社の機工・計測システム事業部は、研削盤および工具保持具の製造販売を行っているが、A I Pの工作機械主軸（スピンドル）事業は、これらの当社事業とのシナジーが期待できる。

A I Pの事業の大きな柱のひとつは、ボールねじやスピンドル等の保守ビジネス＝MRO（Maintenance, Repair, and Overhaul）事業である。当社は、かねてより業績の安定性の向上のためにMRO事業への参入を検討していたが、A I Pの買収を通じてこの事業のノウハウを獲得することが可能となる。

本案件により、当社は英国・ドイツ・米国に事業拠点を新たに保有することになり、重要な経営戦略であるグローバル展開を加速することが期待できる。また、製造拠点が日本に集中している当社駆動システムおよび機工・計測システム事業にとって、このことは大規模災害に対するBCP上の対策となり、かつ超円高基調の中での為替リスク対策にもなる。

(3) 取得対象子会社に関する子会社取得の対価の額

取得価格の売買代金12億円（概算額）に子会社取得に当たって支払うアドバイザー費用、デューデリジェンス費用その他諸経費 1 億円（概算額）を含め13億円相当を予定しております。

以上